

第 3 5 7 号

宮城県 商工連合会報

発行所 仙台市青葉区上杉一丁目14番2号
 宮城県商工振興センター内
 宮城県商工会連合会
 TEL. 022(225)8751
 FAX. 022(265)8009
 URL: <https://www.miyagi-fsci.or.jp/>
 発行責任者 会長 齋藤 富嗣
 印刷所 株式会社セイトウ社



綴じ込んで保管しましょう

© JAPAN BURGER CHAMPIONSHIP

元気な事業所紹介 ハリーズ ジャンクション
Harry's Junction (利府松島商工会)

代表の佐藤氏（写真左）は都内ハンバーガー店の店長経験を経て、地元松島を盛り上げたいと平成30年に独立。仙台牛の肉汁溢れる分厚いパティは食べ応え抜群で、地元客のみならず多くの観光客も虜にしてみました。様々なフードイベントにも積極的に参加し、今回、日本全国のハンバーガー店が味と技術を競う「ジャパンハンバーガーチャンピオンシップ」に出場し、見事優勝を果たしました。（詳細は3ページ）

C O N T E N T S

- 販路開拓支援事業「個別商談会」…………… (2)
- ワンポイント経営アドバイス「自由闊達」… (5)
- 事業環境 事業者向けセミナー…………… (2)
- 中小企業省力化投資補助事業…………… (5)
- 元気な事業所紹介…………… (3)
- 商工会等職員採用資格試験のお知らせ… (6)
- よろず支援拠点支援事例…………… (4)
- 中小企業大学校仙台校からのお知らせ… (7)
- 宮城県ものづくり企業奨学金返還支援制度… (4)
- 青年部・女性部コーナー…………… (8)



自社商品を熱心にアピールする事業者

新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの影響を受け、売上が減少している小規模事業者等の新たな販路開拓支援を目的とした「県内バイヤー等との個別商談会」を去る七月十日に本会会議室を会場に開催。県内で農産加工食品等を取り扱う会員七事業者が参加した。

本商談会は全四回の開催で、第一回目として招聘したバイヤーの「グリーンマート桂店（仙台市泉区）」は、「ほ

県内バイヤー等との マッチングによる 「個別商談会」を開催

本会では、目まぐるしく変化する事業環境に対応していただくため、「デジタル化」をテーマとした講習会をオンラインで開催した。

第一回目として、「SNS活用セミナー」を六月十九日に開催。県内の会員事業所等一〇八名が参加した。

数あるSNSの中でも利用者が多い「LINE」と「Instagram」の活用について、それぞれの概要と売上アップにつながる活用方法について、事例を交えて説明がなされた。SNS運用は継続的に情報発信を行うことが重要であり、成果を出すための目標設定と、目標達成の進捗度合を定期的に確認する

本商談会には三名のバイヤーが対応した。

今回初めて本商談会に参加した事業者もいたが、所属する商工会担当職員の伴走支援もあり、三十分間という限られた商談時間の中で、試食を交えながら自社商品の特徴について熱心にアピールする姿が見受けられた。

成約に至った事業者の他、バイヤーから店舗内での催事販売の提案をいただく事業者もあり、また「味・価格・サイズ・デザイン」等の商品全般に関するアドバイスも含めた評価コメントもいただいた。

商談後には、専門家の遠藤光好コーディネーターから今後の交渉方法などフォローアップ指導をいただき、商談成約に向け大変有意義な商談会となった。

「事業環境変化対応型支援事業」 「デジタル化」をテーマとした 事業者向け講習会を開催！

本会では、目まぐるしく変化する事業環境に対応していただくため、「デジタル化」をテーマとした講習会をオンラインで開催した。

第一回目として、「SNS活用セミナー」を六月十九日に開催。県内の会員事業所等一〇八名が参加した。

数あるSNSの中でも利用者が多い「LINE」と「Instagram」の活用について、それぞれの概要と売上アップにつながる活用方法について、事例を交えて説明がなされた。SNS運用は継続的に情報発信を行うことが重要であり、成果を出すための目標設定と、目標達成の進捗度合を定期的に確認する



オンラインで受講する参加者

第二回目は、「Googleビジネスプロフィール」を七月四日に開催。県内の会員事業所等一〇三名が参加した。

Googleビジネスプロフィールで最低限やるべき三つの「こと」は①正しい基本情報に更新すること②お店の魅力が伝わる写真を掲載すること③クチコミを放置しないことであり、どれもお客様が事前に知りたい情報であるため大切な「こと」であるとの説明がなされた。

第三回目は、「生産性向上のためのDX推進セミナー」を七月十二日に開催。県内の会員事業所等二十名が参加した。

中小・小規模事業者にとつてのDXとは、デジタルの活用により業務のやり方を変えることで自社の課題を解決することであり、デジタル化に

よって一つの業務にかかる人員やコストを減らし、業務効率化や生産性向上につなげるものであるとの説明がなされ、代表的なグループウェアの紹介や事務作業の効率化を図るRPAの活用など事例を交えて説明がなされた。

全ての講習会において参加者から多くの質問が寄せられ、「デジタル化」をテーマとした講習会は関心度が高く、大変有意義なセミナーとなった。

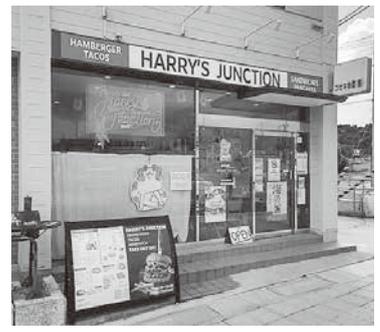


オンラインで開催した講習会

元気な事業所紹介

みんなが笑顔になれる 世界一のハンバーガー屋を目指して Harry's Junction 代表 佐藤 賢将 氏

所在地：宮城県松島町高城字町195-1 コセキビル1F TEL：022-290-6827 HP：https://harrysjunction.com/ 定休日：火曜日



肉汁が溢れる自慢のバーガー

【事業を始めたきっかけ】 代表である佐藤氏は、県内高校卒業後に就職により上京。その後パティシエに憧れてケーキ屋やカフェで勤める中、ファストフードという従来のイメージとは違う重厚で創作的なハンバーガーに魅力を感じ、当時都内でも珍しかった本格ハンバーガー店で店長として勤めました。元々、創業に意欲があったことから、いずれはハンバーガー店を自ら経営したいと考えていた時、毎年帰省時に会っていた恩師から地元の子どもたちが減って寂しい町になってきたという話を聞き、やはり店を出すなら地元の盛り上がりや貢献できる形がないと松島での開業を決めました。 【力を入れて取組んでいること】 開業当時は、値段が高いと言われ、メニューを見て帰られたこともありましたが、自身が魅力を感じた本格ハンバーガーに妥協せず宣伝活動を力を入れました。 その中で、事業の一番の宣

【商工会との関わり】 商工会には創業時から計画策定等相談をしており、宮城県スタートアップ加速化支援事業や松島町独自の創業者支援補助金に採択されたことで店舗の内装や広告、当面の

その縁の中で、今回、日本一のハンバーガーを決める「ジャパンバーガーチャンピオンシップ」への出場を勧められ、名前を一気に広めるチャンスと感じたことから出場を決意。全国から出場した四十四店と指定食材を用いたハンバーガー作りの味と技術を競い、多くのイベントに出店により様々な環境下で調理をしてきた経験も活きて、見事優勝することができました。



櫻井松島町長(左)に優勝を報告

次は世界一の称号で松島が世界中に注目してもらえよう、十一月にアメリカで開催される世界大会「ワールドチャンピオンシップ」ハンバーガー部門で日本代表として出場してきますので、応援よろしくお願いたします。

【今後の展望】 日本一の称号をいただき、注目していただける力を得ることができたことから、松島町内のイベントや施設への出店に一層積極的に取り組み、地元の活性化に一役買いたいと思っております。 現在、ありがたいことに様々な企業等からコラボやフランチャイズ契約の話をいただいております、自身魅力を感じたハンバーガーを多くの方に伝えるチャンスとなっておりませんが、松島を盛り上げたいという初心を大切に、これからも「松島のHarry's Junction」であり続けたいと思っております。

家賃や仕入れ等が補助されたことは、創業後すぐに様々な取り組みにチャレンジする余裕に繋がりました。 その後も小規模事業者持続化補助金を活用して店舗の視認性を高めるための看板設置を行い、集客率の向上にも役立っております。 また、青年部にも加入したことで様々な業種の同年代の方と繋がりができ、食材の納入や出店時の助け合いなど良好な関係を構築できました。

宮城県火災共済協同組合 取扱共済 火災共済 (あなたの財産を守る) +地震危険補償特約 ないふる共済 (事業者のための地震対応共済) 休業対応応援共済 (地震・水害等の被災時の事業継続を支援) その他共済 (医療・傷害共済等) 自動車共済 先ずはお見積りを! お問い合わせ・お申込みは お近くの商工会へ

宮城県よるず支援拠点 新サービス展開 支援事例

宮城県よるず支援拠点の佐藤創です。今回の支援事例は、創業三百年超、加美町にある老舗着物店の株式会社染萬さん(0229(63)3302)。本件は加美商工会と二人三脚でサポートを致しました。

相談内容は、着物の買取り販売のリユース市場が伸びており更なる買取りを増やしたい、という事。各ご家庭には「着物」という資産が眠ったまま。そこで着物のリユース市場での流通は、着物を必要人に届けるという循環型社会の実現の意味でも価値があると考えました。

ただし、競合はフランチャイズで全国展開する買取専門店。お客様は知名度がある買取専門店に流れる傾向にあることが課題の一つです。もう一つの課題は、お客様の着物には愛着や思い出があり、なかなか手放しにくい、という心理的なハードルがあることです。

当拠点では、当社の強みを活かし、①競合では実現できない新しい買取サービス②お客様の着物を手放せない心理的ハードルを下げる情緒的な広告の検討を提案。



まずはサービスの開発から。当社の強みである、着物の目利き力、着物レンタルができる点、そして創業三百年超という点を活用したいと考えました。

提案したのは、「当社で買取りをした場合は、ご家族が永年使える着物レンタルの割引サービスを付ける」という買取りサービス。着物を手放したとしても、いつでも着物をレンタルできる権利がついており「着物の所有から利用」を促す新サービスです。権利が永年使える、という保証ができるのは、創業三百年の重みがある当社だけです。

そして心理的ハードルを下げる広告活用の検討。岩手県よるず支援拠点のコピーライターも交えて数か月に渡りアイデアを検討。その結果生まれた「着るかも」という不安を「いつでも着られる」安心へ。

加美商工会の支援で小規模事業者持続化補助金にも採択され、新サービスのチラシ折込みを実施しました。結果は想定以上の反響。折込直後から電話が鳴りやまないほどの反響があり、折込実施後も継続的に相談があるとのことでした。

強みを活かし差別化を図ると、ここまでの違いが出ます。ぜひ当拠点までご相談下さい。

022(393)8044

～若手人材の確保を応援!!～

宮城県ものづくり企業奨学金返還支援制度の導入企業を募集します。

宮城県では、今年度から、従業員の奨学金返還を支援した中小企業に対して費用の2分の1を補助する制度を開始しました。

現在、大学を卒業した若者の2人に1人は奨学金を利用しており、その返還は多くの若者にとって経済的・心理的な負担になっています。そのため、企業が奨学金の返還に対して支援を行うことは、就職活動中の学生に対して福利厚生の一環としてPRできるほか、採用後も従業員のモチベーション向上などにつながることを期待されます。

会社の将来を担い、これから長く活躍してくれる若手人材を採用したいと考えている企業の皆さん、ぜひこの制度の活用をご検討ください。

補助対象企業	● 県内に本社を有するものづくり企業 ● 県内に支社、工場、事業所等を有し、県内に勤務地を限定した採用を行っているものづくり企業 <small>※中小企業基本法に規定する中小企業者又は小規模企業者に限る</small>	補助率	1/2 ※企業から従業員への支援金額の1/2を補助																			
	● 令和7年度以降に補助対象企業に正社員として採用される者 <small>※高校卒や中途退学等した場合も対象 ※既卒の場合は卒業から4年以内に就職した者が対象</small>	補助上限額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援対象となる従業員</th> <th>企業から従業員への支援総額(6年間)</th> <th>県から企業への補助総額(6年間)※2</th> <th>県から企業への補助額(1年あたり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">大卒等※1</td> <td>プラン①</td> <td>270万円</td> <td>135万円</td> </tr> <tr> <td>プラン②</td> <td>180万円</td> <td>90万円</td> </tr> <tr> <td>プラン③</td> <td>90万円</td> <td>45万円</td> </tr> <tr> <td>高校卒</td> <td>54万円</td> <td>27万円</td> <td>4万5千円</td> </tr> </tbody> </table>			支援対象となる従業員	企業から従業員への支援総額(6年間)	県から企業への補助総額(6年間)※2	県から企業への補助額(1年あたり)	大卒等※1	プラン①	270万円	135万円	プラン②	180万円	90万円	プラン③	90万円	45万円	高校卒	54万円	27万円
支援対象となる従業員	企業から従業員への支援総額(6年間)	県から企業への補助総額(6年間)※2	県から企業への補助額(1年あたり)																			
大卒等※1	プラン①	270万円	135万円																			
	プラン②	180万円	90万円																			
	プラン③	90万円	45万円																			
高校卒	54万円	27万円	4万5千円																			
支援対象となる奨学金	● 日本学生支援機構の第一種奨学金(無利子)及び第二種奨学金(有利子) ● 宮城県高等学校等育英奨学資金	※1 大卒等については、3つのプラン(補助上限額)から企業が選択可能 ※2 従業員の奨学金返還総額の1/4が上限																				
補助要件	奨学金返還支援制度について、企業が就業規則や賃金規程等の内部規程において定めること	補助期間	最長6年間																			

お問合せ

宮城県 経済商工観光部 産業人材対策課
TEL : 022-211-2764/E-mail : sanzinp@pref.miyagi.lg.jp

県ホームページにて詳細をご確認いただけます
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sanzin/syougakukin.html>





ワンポイント経営アドバイス/ 自由闊達

事業価値を高める

～変化 先取り ひと工夫 新たな事業活動にチャレンジ～



宮城県商工会連合会嘱託専門指導員

中小企業診断士 工藤 弘之

専門分野は事業連携・生産革新。中核的支援機関で中小企業者等の経営革新や創業支援に従事。令和4年4月から現職。

このコーナーをお引き受けしてからはや一年。改めて気づいたことは、お話ししたいことやお伝えしたいことを限られた紙面の中で表現することの難しさです。日常的に使っている話し言葉と、文章を書くときに用いられる書き言葉。質を高める使い分け。文才のない小職にとってはかなりハードな挑戦の連続です。

▶ 得を説き、得を納める

コーナー的に言えば書き言葉は事業計画書でしょうか。いくら良いアイデア、構想であっても相手に伝わらなければ意味がありません。計画書は読みやすいことはもちろん、わかりやすい内容である必要がある、というわけです。身近なところでは施策活用ですね。なにせ採択のカギは書面審査での一発勝負ですから気が抜けません。

審査員は申請者の業界を熟知しているとは限りません。業界内では知られていてもそれ以外の人にとって馴染の薄い言葉には解説を付けたり、写真や図表等を用いて丁寧に説明するなど、細やかな心がけが功を奏することに繋がるものだと思います。

一方、会話やスピーチなどで用いられるのが話し言葉。施策の中には書面審査に加え面接、プレゼンの場を設けている場合があります。感情や熱量を伝えるなら話し言葉が適しており、かつ直感的に理解しやすいという特徴があります。決まったターゲットに対し訴求力を求められるシーンでは効果的です。伝えるべき内容や相手などを考え、より相応しい言葉を選び、相手に「得を説」き「得を納」めてもらう術(言葉)を身につけて実践すること、それは大きな意味を持つ手段のひとつだと考えます。施策活用は返済不要の資金調達ができる、自社事業の見直しができる、対外的信用の向上効果が期待できる等のメリットがあります。これからの自分、求める成果にコミットするためにも日頃から豊富な実績と経験のある商工会への相談は欠かせません。お勧めします。

中小企業等のみなさまの売上拡大や生産性向上を後押しするため、

IoT・ロボット等の人手不足解消に効果がある汎用製品の導入を支援します！



中小企業省力化

投資補助金 のごあんない

国では、中小企業等の売上拡大や生産性向上を後押しするため、人手不足に悩む中小企業等に対して、IoT、ロボット等の人手不足解消に効果がある汎用製品を導入するための事業費等の経費の一部を補助することにより、簡易で即効性がある省力化投資を促進し、中小企業等の付加価値額や生産性向上、賃上げを目的とした標記補助金の公募を開始しました。

補助対象	補助上限額		補助率
補助対象として カタログに 登録された製品等	従業員数5名以下	200万円(300万円)	1/2 以下
	従業員数6～20名	500万円(750万円)	
	従業員数21名以上	1,000万円(1,500万円)	

※賃上げ要件を達成した場合、()内の金額に補助上限額を引き上げ

【お問い合わせ先】

中小企業省力化投資補助事業 コールセンター

ナビダイヤル:0570-099-660(※通話料がかかります)

お問合せ時間:9:30～17:30/月曜～金曜(土・日・祝日除く)



事業の
←詳しい内容は
こちらから

令和6・7年度 商工会等職員採用資格試験

宮城県経済の活力をつくる中小企業・小規模事業者への
経営支援と地域振興に意欲のある方のご応募お待ちしております！

受験資格
採用職種
採用予定人数

- ①経営指導員 高校卒業以上34歳未満*/若干名
 - ②経営指導員研修生 大学卒業以上28歳未満*/1名
 - ③事務職員 高校卒業以上39歳未満*/若干名
- *長期勤続によるキャリア形成のため
*年齢は令和6年4月1日付で令和7年3月卒業見込含む
※詳細な受験資格は本会HPをご確認ください。

令和7年4月1日付

新規採用

令和6年12月1日以降付
中途採用

試験日時

第1次試験（教養試験・論文試験・適性検査）
令和6年10月5日（土）指定時間にWEB受験
及び論文メール提出

（詳細については応募者に別途お知らせします。）

※第2次・第3次試験（面接試験）の詳細は
合格者に別途お知らせします。

勤務地

宮城県内33商工会
又は宮城県商工会連合会

勤務時間

8時30分～17時15分（休憩45分）

休日

完全週休2日制（土・日）、祝日、
年次有給休暇、夏季休暇、年末
年始休暇ほか

募集締切

令和6年9月25日（水）本会受付分

応募方法

応募締切日までに受験申込書、履歴書（写真貼付）、
職務経歴書それぞれ1通を郵送・持参、又は
メールにて本会にお申込みください。

待遇

本会給与規程により支給
各種手当、賞与年2回、昇給年
1回、社会保険他各種福利厚生、
教育研修制度



宮城県商工会連合会

総務人事部人事研修課

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-14-2

宮城県商工振興センター2F

TEL 022-225-8751

詳しくは本会ホームページをご覧ください。（<https://www.miyagi-fsci.or.jp/>）



きっとみつかる
いい人、いい仕事

全国47都道府県の求人・人材支援

企業と人材を結ぶエキスパート

「働く」と雇用をサポート

1 離職する従業員の方の再就職をサポート

2 人材を確保したい企業をサポート

3 「キャリア人材バンク」で高齢者の再就職をサポート

4 雇用を維持するための在籍型出向をサポート

5 社員の人材育成やキャリアアップの出向をサポート

6 研修やセミナーで社員のスキルアップをサポート（有料）



マンガ
再就職支援



マンガ
キャリア人材バンク



公益財団法人 産業雇用安定センター 宮城事務所

〒980-0014 仙台市青葉区本町1-1-1 大樹生命仙台北町ビル9階

TEL 022-726-1826 FAX 022-216-7700

中小企業大学校仙台校 2024年度 下期 研修のご案内

申込受付中

人材は、磨いて初めて「人財」になります。成長が期待される時代。御社の発展のため、仙台校をご活用ください。

Table with columns: 研修分野, テーマ, コースNo., 日数, 定員, 受講料, 期間, 内容. Rows include categories like 階層別 (階層別), 企業経営 (企業経営), 組織マネジメント (組織マネジメント), 人事・組織 (人事・組織), 管財務 (管財務), マーケティング (マーケティング), 生産管理 (生産管理).

注) 日程・講義内容等は都合により変更する場合がございます。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
中小企業大学校 仙台校



TEL:022-392-8811
FAX:022-392-8812

仙台校

検索





青年部
コーナー

浅野健太くん(加美)
最優秀賞に輝く!
—東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会—



最優秀賞を受賞した浅野健太くん(写真右)

第三十回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会並びに商工会青年部主張発表会北・北海道ブロック大会が八月二十一日、福島県郡山市「ビッグパレットふくしま」を会場に、東北・北海道の各地から青年部員約五〇〇名(本県の参加者五十名含む)の参加の下盛大に開催された。初めに主張発表大会が行われ、各道・県商工会青年部の代表者七名が自分達の青年部活動や体験などについて熱弁を奮った。



本県より参加の青年部員

本県代表の加美商工会青年部副部長 浅野健太くんは、参加した地元青年部員の応援を背に、「コロナ禍を乗り越えて再確認した青年部活動の重要性」と題して発表し、審査の結果、見事最優秀賞に選ばれ、来たる十一月二十七日に大阪府吹田市で開催される全国大会に東北・北海道ブロックの代表として出場することとなった。

続いて、開催県の青年部より、「花と人と出合い」のテーマで事例発表が行われた後、宮城県青連から次回開催県のPRと、大阪府青連から全国大会PRがあり、本研修会は盛会裏に終了した。



女性部
コーナー

齊藤良子さん(本吉唐桑)
優秀賞受賞!
—東北六県・北海道商工会女性部員交流研修会—



宮城県代表の齊藤良子さん

第二十三回東北六県・北海道商工会女性部員交流研修会並びに商工会女性部主張発表会東北・北海道ブロック大会が七月二十四日～二十五日、本県「ホテル松島大観荘」を会場に、東北・北海道各地からの女性部員約二七〇名(本県参加一〇〇名を含む)参加のもと開催された。初めに主張発表大会が行われ、東北六県・北海道の代表七名が女性部活動を通じて得た経験や成果について熱弁を奮った。



講師の佐々木眞奈美氏

本県代表の本吉唐桑商工会女性部長 齊藤良子さんは「受け継ぎたい 女性部の伝統」と題し、コロナ禍を経て女性部活動を見つめ直し、地域を支える女性部として、これからは生きる次世代に伝えていくことの重要性について発表したが、惜しくも全国大会への出場は叶わなかった。審査の結果、最優秀賞には、「微力だけど無力ではない 女性部の私たちができること」と題して発表した岩手県代表 西和賀商工会女性部の高橋由紀子さんが選ばれ、来たる十月二十三日、三重県津市で開催される全国大会に東北・北海道ブロックの代表として出場することとなった。

一日目の最後に行われた交流会では、利府松島商工会女性部による「大漁唄い込み」、栗駒鶯沢商工会女性部による「相撲甚句」等が披露されるなか、地域を越えた部員同士の交流が行われていた。二日目の全体研修会では、宮城県の紹介と五名の県内女性部員の活動事例発表会が行われ、二日間の研修を終了した。

続いて、ラジオパーソナリティ 佐々木眞奈美氏を講師に「マナミの方言でござりす」出張講座、薬剤師でパーソナリティからのお薦め・笑う健康法と題し講演が行われた。



栗駒鶯沢商工会女性部の「相撲甚句」